

計画段階評価について
山陰道（大井^{おおい}～萩^{はぎ}）
第3回 説明資料（案）

平成30年11月29日

国土交通省 中国地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 2
2. 第2回意見聴取の概要	・ ・ ・ 9
3. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・ 13
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・ 25
5. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・ 29
6. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・ 31

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

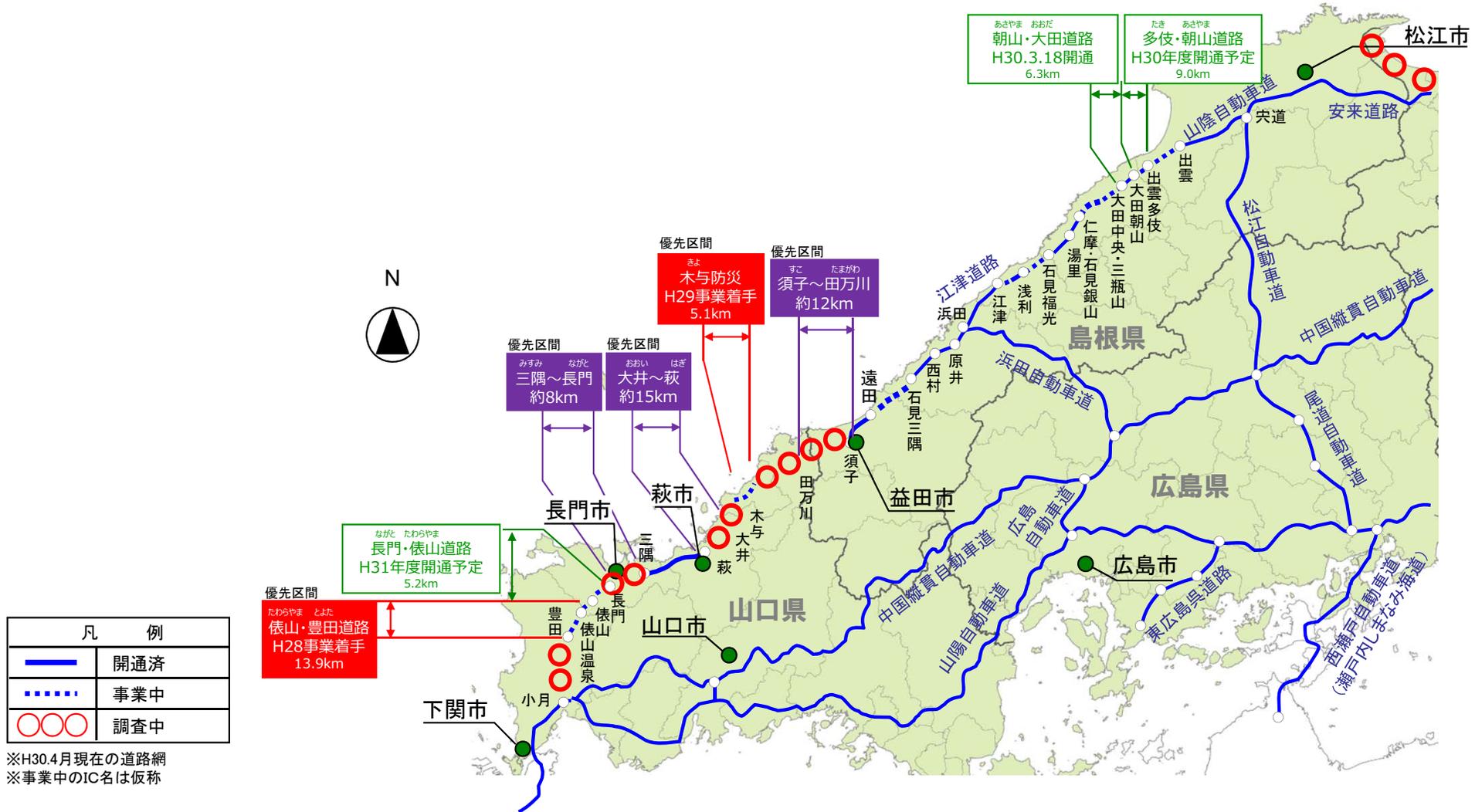
- 当該区間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道(須子~萩)の一部。
- 山口県萩市に位置し、北側の日本海と南側の山地に挟まれた自然豊かな地域である。

【広域図】



1-2. 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

- 山口県の俵山・豊田道路はH28新規事業化、木与防災はH29新規事業化。
- 須子～田万川間は平成29年8月に第2回地方小委員会を開催。三隅～長門間は、平成30年2月に第1回地方小委員会を開催。大井～萩間は平成29年8月に第2回地方小委員会を開催。



1-3. 前回審議内容

■平成29年度第2回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日:平成29年8月22日(火) 開催

主な議事:①第1回意見聴取の結果の確認

②対応方針(複数案)の設定

③評価項目の設定

④意見聴取方法

●前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・第2回意見聴取の比較表において、各ルート帯案とも公平に評価されるよう評価項目とその内容を検討すること。	・各ルート帯案を公平に評価できるよう、比較表に維持管理費等の評価項目を追加した。
・アンケート調査を実施する際、各対策案が、普段の生活にどう影響するのかが想像できる資料を載せること。	・アンケート票の比較表に、各対策案のイメージ図を追加した上で意見聴取を行なった。

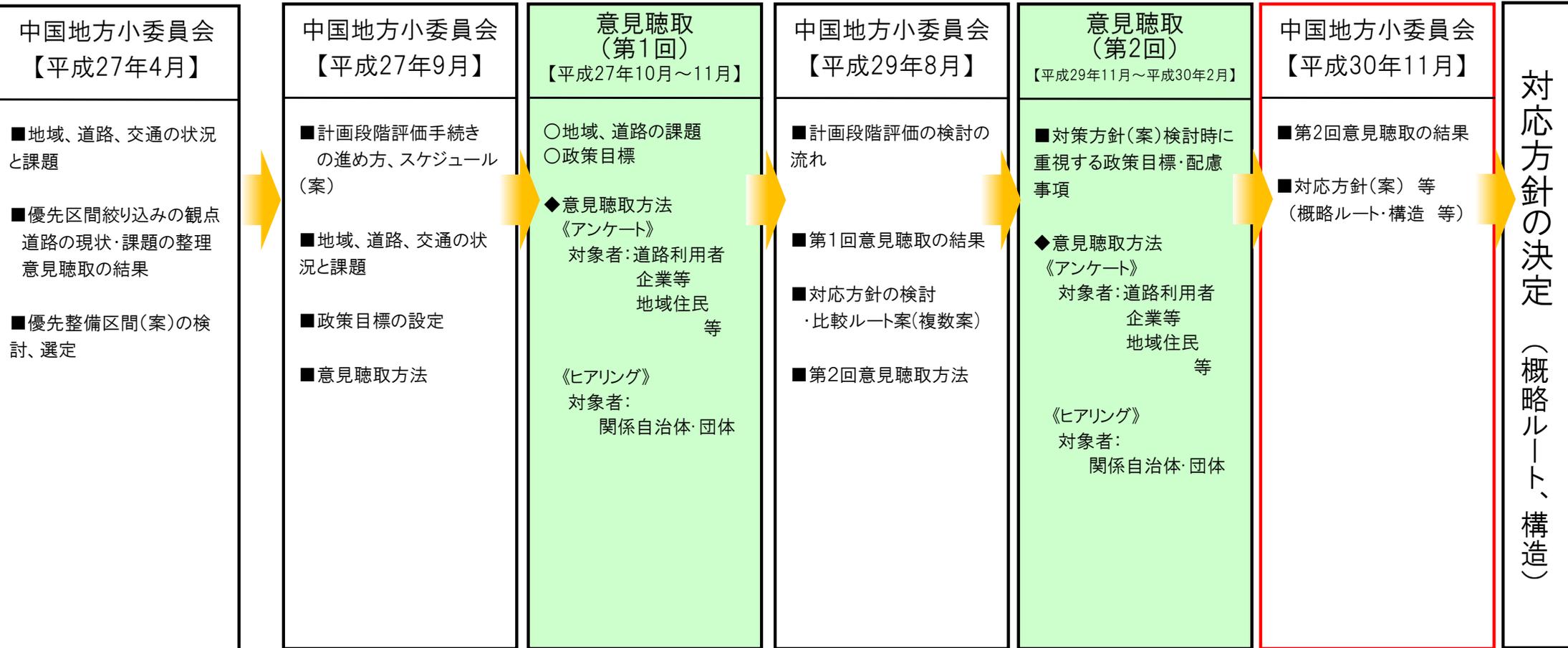
1-4. 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

優先区間絞り込み

(今回)



※各段階で随時自治体と調整

地方小委員会

1-5. 地域の将来像、地域の活動状況との整合性

項目	地域の将来像・取組み
①通行止め時に機能するネットワーク(代替性)の確保	○災害に強い県づくり推進プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○防災拠点のネットワーク <萩市都市計画マスタープラン>
②安全性・走行性の向上	○暮らしの安心・安全確保プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○市民の安全な交通環境整備 <萩市都市計画マスタープラン>
③交通の円滑化	○快適な暮らしづくり推進プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○広域的な経済活動・交流と、市内の円滑な移動環境づくり <萩市都市計画マスタープラン>
④産業の活性化	○時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○強い農林水産業育成プロジェクト <やまぐち維新プラン>
⑤観光振興の促進	○交流を拓げる基盤整備プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○選ばれる観光目的地やまぐち実現プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○観光資源・情報のネットワークづくり <萩市都市計画マスタープラン>
⑥救急医療機関への速達性、確実性の確保	○安心の医療・介護充実プロジェクト <やまぐち維新プラン> ○保健・医療・福祉の充実 <萩市都市計画マスタープラン>

1-6. 政策目標

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

圏域の将来像

地域の将来像

1. 通行止め時に機能するネットワーク（代替性※）の確保
2. 安全性・走行性の向上
3. 交通の円滑化
4. 産業の活性化
5. 観光振興の促進
6. 救急医療機関への速達性、確実性の確保

※国道191号が通行止めになっても、近くに選択できる幹線道路を確保

◇ 対策案の検討

【代替性】

災害時や事故発生時の通行止めによる社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

【安全性・走行性向上】

通過交通や生活交通など様々な特性の交通が安全且つ、円滑に通行できる道路整備とは

【交通円滑化】

交通混雑を緩和する円滑な道路整備とは

【産業の活性化】

農水産業等の地域産業の市場拡大、企業誘致のための受け皿拡大を促すための道路整備とは

【観光振興】

島根県西部～山口北西部と一体となった観光客誘致や新たな観光周遊行動を促す道路整備とは

【医療関連】

第二次医療施設への時間を要する中、地域住民の安心確保に向けた高次医療機関への速達性・確実性を向上させる道路整備とは

当該地域に求められるサービスとは

⇒安全・安心で信頼性の高い走行空間を確保するとともに、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

【環境等への影響】

【生活への影響】

【工事の影響】

【建設費】

【維持管理費】

当該地域の高規格幹線道路の整備方針を検討
(既存の道路ストック活用の可能性も含め、複数の対策案を設定し検討)

2. 第2回意見聴取の概要

2. 第2回意見聴取の概要

1) 意見聴取の概要

■調査期間

平成29年11月～平成30年2月

<アンケート配布範囲>

※配布数は、地域住民アンケート

■配布方法

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

■対象

下表の通り



住民アンケート(全戸配布): 約23,100世帯			
萩市	旧萩市	約17,800世帯	
	旧福栄村	約900世帯	
	旧むつみ村	約700世帯	
	阿武町	約1,600世帯	
長門市	旧三隅町	約2,100世帯	
事業所アンケート: 約1,500社			
トラック協会加盟企業		約200社	
沿線企業		約1,200社	
広域利用企業		約100社	
道路利用者アンケート: 31箇所			
常設	道の駅	ゆとりパークたまがわ、萩しーまーと、萩往還、萩さんさん三見 ハピネスふくえ、うり坊の郷、阿武町、長門峡等	13箇所
	自治体	萩市(本庁、総合事務所6箇所)、阿武町(本庁、支所2箇所) 山口県萩土木建築事務所、国土交通省	13箇所
	その他	観光施設等	5箇所
WEB	山口河川国道事務所HPにバナー掲載		
ヒアリング: 33団体			
自治体	山口県、萩市、阿武町		
沿線施設	警察、消防、病院、介護施設、観光地、商工会議所、地元企業、農協、漁協等		
その他	トラック協会等		

■質問内容

【質問票】 (回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑮から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること
- ③ 通過交通と生活交通が分離できること
- ④ 渋滞が緩和できること
- ⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること
- ⑥ 観光地へアクセスしやすいこと
- ⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと
- ⑨ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと
- ⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑬ 建設に要する費用が安いこと
- ⑭ 維持管理に要する費用が安いこと
- ⑮ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

2. 第2回意見聴取の概要

2) 意見聴取の方法・対象者と回収率

調査種別	対象者	実施期間	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率	
アンケート	地域住民	萩市	平成29年11月30日(木)～平成30年2月15日(木)	萩市(旧萩市、旧福栄村、旧むつみ村)	19,373	3,611	18.6%
		阿武町	"	阿武町	1,614	457	28.3%
		長門市	"	長門市(旧三隅町)	2,074	270	13.0%
		その他	"	萩市のうち旧市町まで記載がないもの、その他	-	153	-
		WEB調査	"	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	124	-
		合計	-	-	23,061	4,615	20.0%
	事業所	事業所	平成29年11月30日(木)～平成30年2月15日(木)	沿線事業所、トラック協会(鳥取県、島根県、山口県、福岡県)の会員	1,529	520	34.0%
		WEB調査	"	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	7	-
		合計	-	-	1,529	527	34.5%
	道路利用者	常設	平成29年11月30日(木)～平成30年2月15日(木)	道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を配布(31箇所)	4,165	1,332	32.0%
		インタビュー調査	平成30年1月7日(日)、1月15日(月)	道の駅ゆとりパークたまたがわ、道の駅阿武町、道の駅萩しーまーと、道の駅萩往還、道の駅さんさん三見	494	494	100.0%
		WEB調査	平成29年11月30日(木)～平成30年2月15日(木)	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	213	-
		合計	-	-	4,659	2,039	43.8%
		合計	-	-	-	7,181	-
	ヒアリング	関係自治体	平成29年11月30日(木)～平成30年2月15日(木)	沿線地域の自治体		3	団体・企業
医療関連			警察署・消防署・病院・介護施設		5	団体・企業	
観光			観光協会、観光地		6	団体・企業	
商工関連			商工会議所		3	団体・企業	
製造業関連			地元企業		3	団体・企業	
物流業関連			トラック協会、物流事業者		9	団体・企業	
農業関連			農協		1	団体・企業	
漁業関連			漁協		2	団体・企業	
交通関連			バス会社		1	団体・企業	
合計		-	-		33	団体・企業	

2. 第2回意見聴取の概要

3) 回収率を上げるための取組み

■道路利用者アンケートの常設



▲萩市役所

■沿線自治体HPへのリンク設置



▲萩市HP

■WEBアンケート実施



▲山口河川国道事務所HP

■道の駅でのインタビュー調査 (平成30年1月7日(日)、平成30年1月15日(月))

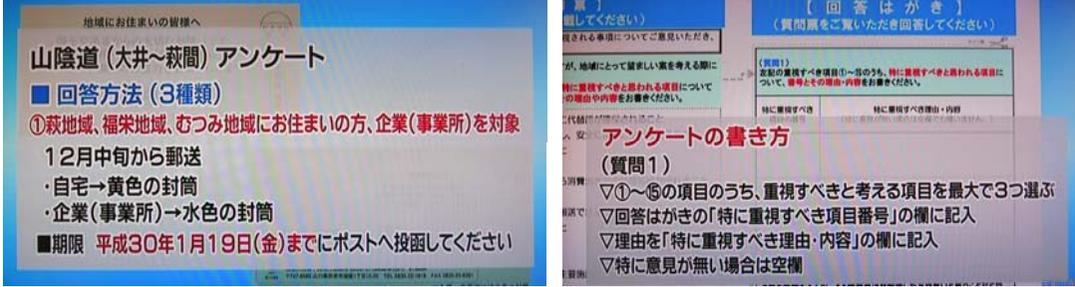


▲道の駅「萩しーまーと」

■広報誌 (市報HAGI 平成29年12月15日号)



■ケーブルテレビ (1部:H29年12月28日～平成30年1月2日、2部:平成30年1月4日～1月9日)



■新聞広告 (読売新聞、山口新聞 H29年12月17日朝刊に掲載)



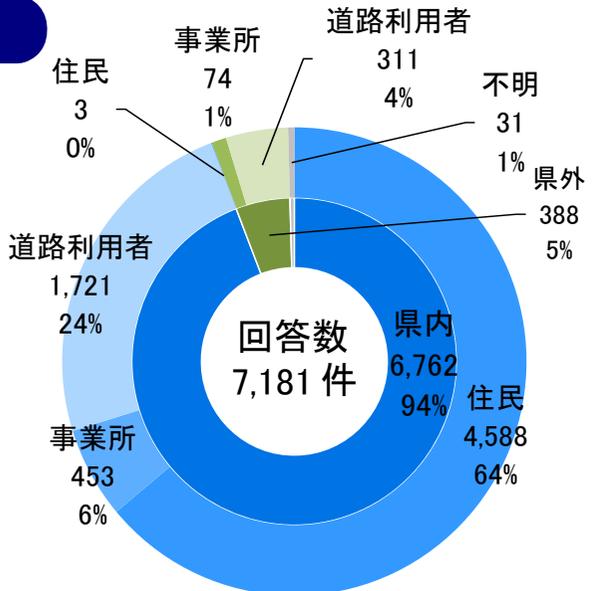
3. 第2回意見聴取の結果

3. 第2回意見聴取の結果

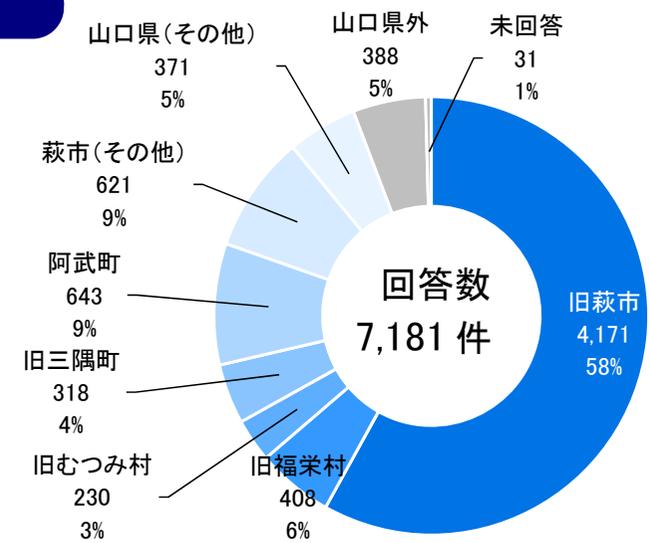
1) 属性

○住民約4,620人、道路利用者約2,040人、事業所約530社から合計約7,200件の意見聴取を実施。
 ○回答者のうち、旧萩市からの回答が約6割を占める。
 ○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

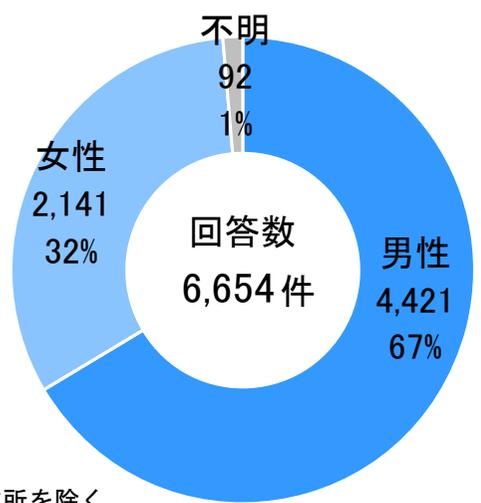
アンケート回収状況



回答者住所

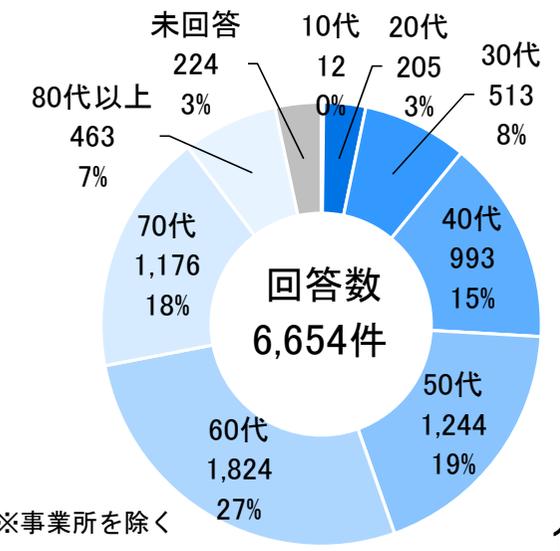


回答者性別



※事業所を除く

回答者年代



※事業所を除く

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目

- 対策案(ルート帯案)を検討する際に重視すべきだと思う事項として「①災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること」の回答数が最も多い。
- 次いで「②線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること」「⑦救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」について重視する声が多い。
- 「⑮その他」は少なく、特に重視する項目は設定した項目により概ね確認することが出来た。
- 住民、事業所、道路利用者毎に比べても、重視すべき項目は概ね同じ傾向である。

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？重視すべき項目①～⑮から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

特に重視すべきと思われる項目		全体 (回答数:6,528人)	アンケート種別		
			住民 (回答数:4,106人)	事業所 (回答数:473人)	道路利用者 (回答数1,949人)
道路整備による 効果・改善点	① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること	72%	75%	78%	62%
	② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること	38%	37%	44%	39%
	③ 通過交通と生活交通が分離できること	20%	21%	22%	18%
	④ 渋滞が緩和できること	20%	18%	21%	23%
	⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること	11%	10%	14%	13%
	⑥ 観光地へアクセスしやすいこと	21%	18%	16%	30%
	⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	35%	37%	29%	33%
配慮すべき点	⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと	7%	7%	5%	9%
	⑨ 自然環境への影響が小さいこと	10%	9%	7%	11%
	⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと	5%	7%	3%	3%
	⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと	16%	16%	13%	16%
	⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと	10%	11%	13%	7%
	⑬ 建設に要する費用が安いこと	8%	8%	6%	7%
	⑭ 維持管理に要する費用が安いこと	8%	9%	8%	7%
	⑮ その他	2%	2%	1%	3%

※質問1に回答した人を対象に集計しているため、全回答者数7,181人と一致しない

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

○代替路の確保、安全で快適な走行、救急医療の支援、観光地アクセス向上等に期待が寄せられている。

分類	理由や内容
① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること 【1,455件】	国道191号は 交通事故発生時 には周辺の生活道も含め 機能不全となります 。解消を望みます。(旧萩市・50代男性)
	近年、 続発している大雨の為、ガケ崩れ等による通行止めは非常に生活に支障 がでる。山間部に暮らすものにとって長期間に渡る通行止めは非常に閉塞感がある。(旧福栄村・40代男性)
	海岸と山地にはさまれ狭い道路のため、悪天候気象災害などの影響を大いに受けやすく、 迂回路も見通しの悪いカーブが多く、安全性の確保に欠けている 。(旧福栄村・60代男性)
	まず第一に 代替路がないことで車の移動が不便 であることと、災害時には食料の確保が可能になることが大切である。(旧萩市・60代女性)
	現在市街地から、各地区(大井方面、福栄むつみ方面)に アクセスする道路は1本づつしかない ので、山陰道が開通すれば、現場へのアクセスが向上し、災害対応しやすくなる。そのため現存の各主要集落に山陰道経由で進入可能となる出入口を設置して欲しい。(ヒアリング・消防署)
	車関連の仕事に従事しております。納期的にタイトな製品を扱っております。 非常時の代替路線の確保が必要 と成ります。(ヒアリング・製造業) セリ開始時間が決まっているため、 品物の入荷時間が遅れると次の日売りとなるため、魚価単価が安くなる 。又、入荷を当てにしている仲買人も品物が揃わないため 売りに上げに大きな影響が発生 する。(ヒアリング・漁協)
② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること 【738件】	対向車、 特に大型車両とのすれ違い時、はみ出しが気になる 。大型車両の離合待ちの時、後続車両に小さな渋滞が生じる。(阿武町・40代女性)
	やはり、地元の生活第一を考えた運転環境を、まず整えて頂きたい。営業訪問先に迷惑をかけます。 大井橋は道幅が狭く、カーブ視界も悪く、急ブレーキかける大型トラックもあり、また大井～越ヶ浜間の越波 による、車の下廻り、さびがひどく困っています。一日も早い着手をよろしく願います。(旧福栄村・製造業)
	越ヶ浜に向かうところのカーブと大井川の橋 のところの整備により、交通事故の恐れが少なくなることを願っています。(旧萩市・40代女性)
	大型車両が通行する際、国道191号は 狭小橋等、幅員が狭い箇所も多く苦勞 しているため。(美祢市・運輸業)
	道路の 線形不良や幅員狭小により積荷の損傷 など輸送品質に影響するので、快適な走行環境を整備する事は、安全確実な輸送に重要な要素である。交通事故防止は最優先課題で、効果は大きい。(ヒアリング・トラック協会)
現在の国道191号は 幅員狭小の箇所を通行 することが多い。送迎の車は、リフト付ワゴン車のため大型であり、また、車イス利用者を乗せて カーブを曲ると、左右に揺れる ため、利用者への不安や車イスからのズリ落ちなどの傷につながる。(ヒアリング・福祉介護施設)	

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

分類	理由や内容
③ 通過交通と生活交通が分離できること 【428件】	通過交通と生活交通が分離できれば、大型車の通行が減り、安全性が確保できるし、渋滞が緩和する。(旧萩市・40代男性)
	大型車の通行も多く、地域的に高齢ドライバーも多いので事故が起きる可能性が高いと感じています。(旧萩市・運輸業)
	通過交通と生活交通を分ける事で殆どどの不便さを解消する事が出来ると思います。(旧萩市・40代男性)
	萩の観光地(世界遺産)である市街地を大型貨物が頻繁に通過する現状で、少しでも早い着工完成が望ましい。(美祢市・運輸業)
	日中、夜間を問わず国道191号はトラックが多く、特に夜間のトラックのスピード走行が目立つように思う。すれ違う時の怖さ、事故発生率が軽減され、より安全を確保できるのではないかと。(ヒアリング・商工会議所)
④ 渋滞が緩和できること 【322件】	渋滞により観光地が集まる小畑地区へお客さんをお呼びすることができないのは、観光業が主幹産業の一つである萩市にとっては大きな痛手となります。(旧萩市・80代男性)
	市街地に入るときは、観光シーズンだけでなく、朝、夕方のラッシュ時の緩和がみこまれると思います。(旧むつみ村・建設業)
	市外の者が萩観光はいやだとの評判です。渋滞するので、このままでは観光地が活かせない。遅ればせながら早期実現を強く望みます。(旧萩市・60代女性)
	萩へ遊びに行くとき、渋滞にまきこまれるのは、困っています。山口から萩までは、新しい道路のおかげで早くなりました。(山口市・女性)
	萩一帯と前は特に時季によって混み合う。また反射炉も近く渋滞解消につながれば良いと思う。観光ルートと通り抜けルートがわかれると多少違うと思う。(ヒアリング・観光施設)
⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること 【259件】	萩～益田間は農林水産物を主とした地域であり、生鮮を保つためにも、各消費地までの時間短縮が必要である。(旧萩市・NPO団体)
	主たる産業が農林水産物であり消費地までの時間短縮が図れることにより販路拡大、収入増につながる。(旧萩市・60代男性)
	農林水産物の販路の道が不便であるので農林水産物の産業の発展に寄与出来ること。(旧福栄村・70代男性)
	道の駅、萩一帯とIC設置は、世界遺産もあり観光の面でも、また萩卸売市場もあり、物流の面でも効果があり利用者も増えます。(益田市・30代女性)
	輸送時間が短縮できれば、出荷側は品物を揃えるのに時間の余裕ができ、多くの品物を搬入することができる。又、冷凍エサの仕入も到着時間が解ると人夫の雇入れ時間が決まってくるので、コスト削減にもつながる。(ヒアリング・漁協)

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

分類	理由や内容
⑥ 観光地へアクセスしやすいこと 【504件】	世界遺産は萩観光の大きな魅力であり、萩反射炉への観光客が増えている。また道の駅萩一まーとへも多くの観光客が来るのでこれらの 観光スポットへのアクセスがよい 中間ICを造ってほしい。(旧萩市・70代男性)
	観光客がストレスなく巡ることができるように してほしい。第一印象で来なくなると地域経済にとって損失である。(宇部市・50代男性)
	萩市は観光地として発展 していこうとしている。山陰道には、その成功をぜひ支えて欲しい。(旧萩市・40代男性)
	全国的なレベルで見てこの山陰に高速道がないのはおかしい。すべてのことがおくれおくれになっていると思う。ましては 萩は観光の面でも必要 。バス会社も道路が悪いのでツアーが組みにくい。1日も早く通してほしい。(旧萩市・80代男性)
⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること 【597件】	急病時、萩市内の病院まで、時間がかかりすぎる。 医療機関まで早く安全に確実に 行きたい。(阿武町・70代男性)
	救急車を呼ぶような事態が起こった場合に、 大井地区と萩市中心部の間の通行が、早く確実に ならない限り、大井地区の人口流出はどんどん進むと思う。(旧萩市・20代女性)
	医療過疎である阿武・萩地区において、 救急医療のアクセス時間を短縮 することは、地域の活性化に不可欠である。(旧萩市・50代男性)
	萩市の消防は、萩市と阿武町の広いエリアを管轄している。 救急搬送や火災への対応 には山陰道の早い整備が必要。(旧萩市・60代男性)
	救急患者は一時も早く適切な治療ができる医療機関に搬送 することが大事です。何か事故等があった場合、相互が代替路となれる状況になれば、住民の安心と安全、生命が守りやすくなります。(ヒアリング・病院) 早朝や夕方は大型車と通勤車両等で渋滞することが多いため、山陰道ができることにより通行車両が少なくなり、 緊急車両の現場到着時間や現場から病院への到着時間 が早くなる。(ヒアリング・消防署)
⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと 【137件】	萩の財産である 歴史的遺産群や景観を損うことのないよう 、御配慮をお願いします。埋蔵文化財にも注意していただきたい。(旧萩市・50代男性)
	椿東地区は歴史的遺産が多くあり、 ハイウェイが直接見えないように配慮 してほしい。(旧萩市・50代男性)
	街並みの景観を崩すことがないこと 、あるいは道路を造る際にも 景観に配慮した道路付属物等に配慮 して欲しい。(ヒアリング・萩市)
	便利になるばかりではなく、 歴史的遺産群とか再生不可能な資産 があるため、その価値が壊されると、せっかく道路がよくなっても、魅力がない状態になってしまう。(ヒアリング・観光施設)

アンケート自由意見回答者数:2,508人、ヒアリング回答件数:33件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

分類	理由や内容
⑨ 自然環境への影響が小さいこと 【140件】	萩市ならではの環境は、絶対に守ってほしい。生まれながらのふるさと大切にしたい。(旧萩市・40代女性)
	自然環境への影響が少ないこと、その為に山がくずれて災害がおきたりしては困ります。(旧萩市・60代女性)
	建設コストにこだわるのではなく、貴重な自然を守る方向での整備を望む。歴史ばかりでなく自然環境にも十分配慮した工事を望む。(旧萩市・50代男性)
⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと 【100件】	住み慣れた所で生活する人にとって、移転は大きな問題です。国道191号の改良案は移転しなければならない家屋が多いことから反対です。(高齢者の方々の住まいが多い)(旧萩市・60代男性)
	家屋の移転の場合、なかなか同意を得ることが難しく、道路が早急に出来ないため。(旧萩市・70代男性)
	既存の国道は生活道路として、住民になじんでいるので、ここを拡幅したりすると、支障家屋が多数発生するだけでなく、親しんできた景観もそこなわれるので、別線整備が望ましい。(旧萩市・飲食・宿泊・サービス業)
	現在のコミュニティの中で暮らしたい方が多く、また、国道262号バイパス整備において最近移転補償が終了したばかりということも踏まえ、移転家屋は少ないほうが良い。(ヒアリング・萩市)
⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと 【388件】	旧村部からのアクセスが良くないと人口減に歯止めがかかる要因がない。利便性が良くないと人口定住がはかれない。(旧福栄村・40代男性)
	両地区は、野菜等農作物の栽培が活発であり、今後体験型観光を目指しているため、是非アクセスが容易となる様希望する。(旧福栄村・60代男性)
	福栄やむつみ方向にも利用できるようにして下さい。(旧萩市・60代男性)
	中間ICが設置され、市街地に降りられるようになれば、旧福栄村・旧むつみ村からの利便性が向上する。(ヒアリング・萩市)
	市内でも旧郡部、福栄、むつみ等へのアクセス改善になれば、萩の中でも特に、過疎化が激しいところの振興に寄与できる。アクセスの改善を図って、土地の有効活用、過疎化対策等につなげたい。(ヒアリング・商工会議所)

アンケート自由意見回答者数:2,508人、ヒアリング回答件数:33件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

分類	理由や内容
⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと 【134件】	物品の輸送道路として使用しているため、 輸送時間に制限 があるため。(山口県外・運輸業)
	工事中による交通規制については、大井方面で生活される方にとって 通勤に問題のないよう、工事を行う 必要がある。(旧萩市・50代女性)
	長期間に及ぶ場合は、 観光シーズンにも影響 するため配慮を希望する。(ヒアリング・萩市)
	現在市街地から、各地区にアクセスする道路は1本づつしかないので、 工事による主要道路の通行止めは、業務運用上厳しい 。(ヒアリング・消防署)
⑬ 建設に要する費用が安いこと 【181件】	地元に住む者にとってより良い道路は欲しいところですが、 ムダな費用は抑えるべき と思います。(旧萩市・40代男性)
	必要以上の橋梁やトンネルを建設することで 建設費が多大に投資されることを回避 していただきたい。(旧萩市・70代男性)
	早く道の整備へ着手するには市民の反対が極力少ない形ですめることが大切と思う。長引けばそれだけ金額が増える。それならば建設費の予算が高くでもトータル的には安くなることを可能性としてはある。 全体的なことを考え費用面を考慮 してほしい。(旧萩市・40代女性)
⑭ 維持管理に要する費用が安いこと 【167件】	これから先、長く維持することを考えると 維持費が安い方が良い と思います。(旧三隅町・30代女性)
	だんだんと人口が減って行く中で、収入も減り、負の遺産とならぬ様、 管理費は安い方が良い 。(旧萩市・40代女性)
	山陰地域は、今後も人口減少が続くと思われます。 建設・維持管理コストについては、可能な限り、安くすべき と思います。交通量を考えて、片側1車線(走行車線のみ)は可能でしょうか。(旧萩市・50代男性)

アンケート自由意見回答者数:2,508人、ヒアリング回答件数:33件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

3. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目 (自由意見)

○①～⑭以外の意見としては、「事業効果が早期に発現できること」「沿線地域のアクセス性を高めること」などの意見が寄せられている。

分類	理由や内容
⑮その他 (回答者86人)	事業効果が早期に発現できること 【8件】 将来の為には多少建設費が多くなっても 早急に実施 が望ましい。(旧萩市・80代男性) 高規格道路は、全線がつながってこそ、その効果が発揮できます。 一日も早く、ミッシングリンクの解消 をお願いします。(旧萩市・50代男性)
	沿線地域からの利便性が良いこと 【10件】 小畑か越ヶ浜付近に インターチェンジ が欲しい。(旧萩市・70代男性) 他の道路とのアクセスを良く すること。(萩市(その他)・60代男性)
	冬季の安全性を確保すること 【3件】 山陰道明石～三隅間のように強風にさらされると、空荷のトラックでは怖い。また、 冬期の凍結防止にも配慮 していただきたい。(旧萩市・製造業)
	ルートに関する意見 【10件】 萩市民が利用しやすく、通勤などに使いやすいこと。 案1 については、萩市内に在住するまたは、通勤する人にとっては、大巡りになるため、 あまりメリットがない と思われる。利用者が少ない可能性があり、萩川内北部、樺東の人は使わないと思います。(萩市・50代男性)
	道路機能・構造に関する意見 【10件】 片側一車線では意味がなく、 二車線で追越しができる 山陰道をお願いしたい。萩-三隅間でも渋滞がおきている。(旧萩市・60代男性) 山間部であり雪氷対策が必須。 対面通行であれば中央分離対策 。(旧萩市・40代男性)
	地域活性化を支援すること 【11件】 山陰道沿いの 都市開発も同時に すすめてほしい。(阿武町・30代女性)
	公共交通を活用すること 【2件】 道路の時代は限界に来ているのでは！ 山陰線の高速化 を。(旧萩市・80代男性)
	道路整備は不要とする意見 【12件】 これからますます萩の人口は少なくなる。 ムダなお金を使わないで ほしい。(旧萩市・60代男性)
	合意形成を求める意見 【2件】 道路周辺の 住民への理解を得て 欲しい。(旧萩市・30代女性)
	現道の改良に関する意見 【7件】 大井川橋の拡幅と道路の確保 (旧道利用も同時に考えておくこと)。(旧萩市・70代男性)
	空港アクセスに関する意見 【2件】 宇部空港からの東京方面旅行は 萩・石見空港 にしたい。(旧萩市・80代男性)
	その他道路整備に関する意見 【3件】 山陽自動車道・中国自動車道 とつながらないといけない(旧萩市・70代男性) むしろ 宇部-萩間をつなぐ道路(バイパス) を整備して欲しい。(宇部市・50代男性)
	道路整備による懸念に関する意見 【2件】 山陰道から萩市内に流入する車両やバスが増えると 交通事故も増える 。(旧萩市・60代男性)
	その他 【6件】 山陰の生活網として 鉄道が衰退 している。今だからこそ 道路整備が不可欠 。(旧萩市・50代女性) 最初から 新規道路を造るのが前提 となっている。(旧萩市・70代男性) 整備するために、必要な手続きであるとは理解しているが、 前回アンケートから2年以上経っている 。もう少し早く整備路線にできないものか。(旧萩市・50代男性)

※⑮その他については、回答者が複数の意見を述べることもあるため、意見数の総数は回答者数と一致しない

アンケート自由意見回答者数:2,508人、ヒアリング回答件数:33件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

3. 第2回意見聴取の結果

3) 自治体ヒアリング

○自治体からは、「代替路の確保」「観光の振興」「農林水産業の支援」等の意見が寄せられている。

自治体	主な意見(重視すべき事項)
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・当該道路は、荒天時の通行規制や事故、線形不良等、現道が抱える課題を解消するとともに、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興、県民の安心・安全の確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備が是非とも必要である。 ・当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備や、山陰道整備後を見越した観光・産業振興の推進に取り組んでいきたいと考えている。
萩市	<ul style="list-style-type: none"> ・旧萩市の三角州内には開発できる土地が無いが、三角州外に検討されている中間IC付近やアクセス道沿線には土地もあり、利便性が高くなるこれらの土地を活用した新たなまちづくりを展開できるため「案③：中間ICを設置する全線バイパス案」を望む。 ・旧萩市の東北部に集中する世界文化遺産や自然観光資源を活用し、道の駅 萩しーまーとを中心とした観光振興を図るため、旧萩市東北部へのアクセス性を向上する「案③：中間ICを設置する全線バイパス案」を望む。 ・山陰道の整備効果として国道191号の渋滞緩和に期待する一方で、中間ICが整備されない場合には、萩ICへ交通の集中が起こり新たな渋滞箇所が発生する懸念がある。 ・国道191号が災害や事故などによって通行止めとなった時に代替路線がなく、更に迂回には大幅な時間をロスする。 ・山陰道の整備にあたっては、萩市の貴重な観光資源である歴史的な遺産や景観に配慮いただきたい。 ・萩市の基幹産業である第一次産業の振興には、農林水産物の販路拡大や価格向上の要素となる流通の迅速化が喫緊の課題である。 ・山陰道の開通を見据えて、道の駅、観光関連の団体、市民などと協力し、地域活性化に向けた取り組みを考えている。 ・山陰道の整備に併せてアクセス道を整備し、これらの開通を見据えて萩市都市計画マスタープランの改定や用途地域の変更により土地利用の規制を緩和し、中間IC付近やアクセス道沿線への企業進出促進を考えている。
阿武町	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市に、日常生活や物流面での移動が多く、それを支えるということで、中間ICや走行性も確保した道路が望ましい。 ・「案③：中間ICを設置する全線バイパス案」では、中間ICがあることから、世界遺産や福栄・むつみからのアクセス向上も図れることを期待する。 ・通行止になった場合、萩に行くのに通常の倍ぐらい時間がかかるので、代替路の不足解消が第一。 ・渋滞なり線形が悪いとスピードアップができないため、なかなか現場にいけないことから救急搬送ができない。また、通行止めになると迂回路がないため、生命に関わる。 ・農産物を農協が下関に持って行く時は、現道をいかに早くいけるか、また萩しーまーとに近接した市場や萩市内へのアクセスが重要になる。

3. 第2回意見聴取の結果

4) 中間ICに関する意見

○アンケートやヒアリングにおいて、中間ICに関する意見が寄せられている。



中間ICに関する主な意見（アンケート） ※回答人数:288人

意見
・世界遺産は萩観光の大きな魅力であり、萩反射炉への観光客が増えている。また道の駅萩しーまーとへも多くの観光客が来るのでこれらの 観光スポットへのアクセスがよい中間IC を造ってほしい。(旧萩市・70代女性)
・松陰神社や萩しーまーと等の観光スポットは観光シーズンには交通量が増え、市内の 道路が混雑 します。 中間ICを設置 し、これらの施設にアクセスしやすい案③が望ましい。(旧萩市・70代男性)
・ 卸売市場 からの魚の流通が萩の経済も支えているため、 ICを設置 し萩や周辺地域の活性化を図るべき。(旧萩市・30代女性)
・事故があつて通行止めになった時、一般道へ早く出られるように できればインターは多い方がいい です。(旧萩市・60代女性)
・とても大きなお金が必要な道路なので、できた道路が観光客も萩市内の人も郡部の人、 皆が利用しやすいように、中間インターチェンジは作って欲しい 。(旧萩市・30代男性)
・萩市周辺部とのアクセスも重要。案3の 県道萩篠生線との交差部にインターチェンジ を設置する案をお願いしたい。(旧萩市・50代男性)
・案③ならば建設コストが他案より高くなるが、 中間ICがなければ意味がない 。福栄～萩間の如意ヶ嶽付近の道路整備も合せて工事してほしい。(津和野～萩ルート)(旧福栄村・50代男性)
・ 萩魚市場、萩しーまーとの場所にICを設置 すると、物流と人の流れどちらもが活性化する。農水産業、観光業どちらとも発展を道路が担う。(旧萩市・卸小売業)
・山陽側へ仕事で行く事が多く、市街地を通過するのに信号が多く、無駄な時間がかかり、通過交通を改善していただくためにも、 中間ICを設置して萩市内を通過しない道路整備 を希望します。(旧福栄村・農業)
・観光をきっかけに、山陰にまず人が来る事が、地方の活性化には必要。通りすぎる道路なら、ない方がいい。道路を作るなら、 ICを萩しーまーとのところ に作ってください。(山口県外・40代女性)

中間ICに関する主な意見（ヒアリング） ※回答団体:16団体

意見
・ 山陰道の整備に併せてアクセス道を整備 し、これらの開通を見据えて萩市都市計画マスタープランの改定や用途地域の変更により土地利用の規制を緩和し、 中間IC付近やアクセス道沿線への企業進出促進 を考えている。(萩市)
・萩市に、日常生活や物流面での移動が多く、それを支えるということで、 中間ICや走行性も確保 した道路が望ましい。(阿武町)
・ 中間ICを世界遺産・萩反射炉、県漁協卸売市場、道の駅萩しーまーとの近くに設置 してほしい。合わせて、福栄、むつみ方面へのアクセスも良くなるような位置に。 萩篠生線へのアクセスも良く していただくとうい。(商工会議所)
・「萩しーまーと」や「松陰神社」を目的に益田方面から来られる方は、いったん萩ICで降りて、市内に行かないといけなところを、この 中間ICで降りられるというの は便利がいい。また長門から来る場合も、萩ICではなく1つ先で「松陰神社」「萩しーまーと」「笠山」とか、目的地が近くなる。(道の駅)
・ 萩地方卸売市場付近への出入り箇所を希望 。観光という面では萩しーまーと。(漁協)

3. 第2回意見聴取の結果

5) まとめ

- 住民、事業所、道路利用者に対するアンケート調査において、「①災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること」が最も重要視されており、次いで「②線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること」「⑦救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」について重視する声が多かった。
- ①～⑭以外の意見としては、「事業効果が早期に発現できること」「沿線地域からの利便性が良いこと」などの意見が寄せられている。
- 自治体からは、「災害時の代替路」「産業活動の支援」「渋滞緩和」「観光振興の支援」「主要拠点へのアクセス」「中間IC」に関する意見が寄せられている。

対策案検討に重視すべき項目（アンケート）

特に重視すべきと思われる項目	全体 (回答数:6,528人)	アンケート種類別			
		住民 (回答数:4,106人)	事業所 (回答数:473人)	道路利用者 (回答数1,949人)	
道路整備による 効果・改善点	① 災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること	72%	75%	78%	62%
	② 線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること	38%	37%	44%	39%
	③ 通過交通と生活交通が分離できること	20%	21%	22%	18%
	④ 渋滞が緩和できること	20%	18%	21%	23%
	⑤ 農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること	11%	10%	14%	13%
	⑥ 観光地へアクセスしやすいこと	21%	18%	16%	30%
	⑦ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	35%	37%	29%	33%
配慮すべき点	⑧ 歴史的遺産群や景観に影響がないこと	7%	7%	5%	9%
	⑨ 自然環境への影響が小さいこと	10%	9%	7%	11%
	⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと	5%	7%	3%	3%
	⑪ 旧福栄村・旧むつみ村方面の集落や主要施設との連絡性が良いこと	16%	16%	13%	16%
	⑫ 工事中の交通規制の影響が小さいこと	10%	11%	13%	7%
	⑬ 建設に要する費用が安いこと	8%	8%	6%	7%
	⑭ 維持管理に要する費用が安いこと	8%	9%	8%	7%
	⑮ その他	2%	2%	1%	3%

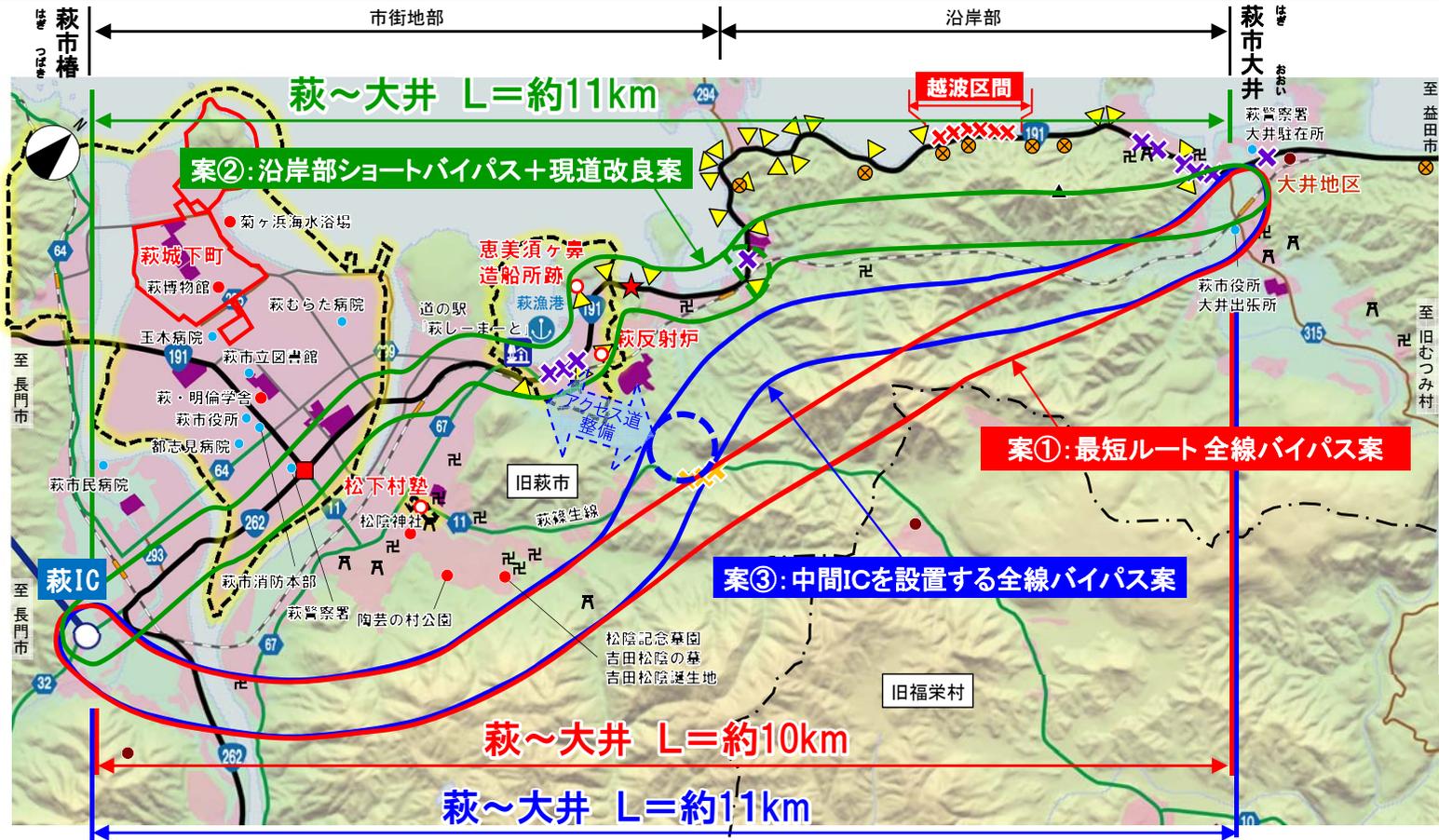
自治体の主な意見（ヒアリング）

災害時の代替路に関する意見	国道191号が災害や事故などによって通行止めとなった時に代替路線がなく、更に迂回には大幅な時間をロスする。【萩市】
産業活動の支援に関する意見	農産物を農協が下関に持って行く時は、現道をいかに早くいけるか、また萩一まーとに近接した市場や萩市内へのアクセスが重要になる。【阿武町】
渋滞緩和に関する意見	山陰道の整備効果として国道191号の渋滞緩和に期待する一方で、中間ICが整備されない場合には、萩ICへ交通の集中が起これ新たな渋滞箇所が発生する懸念がある。【萩市】
観光振興の支援に関する意見	旧萩市の東北部に集中する世界文化遺産や自然観光資源を活用し、道の駅 萩一まーとを中心とした観光振興を図るため、旧萩市東北部へのアクセス性の向上を望む。【萩市】
主要拠点へのアクセスに関する意見	世界遺産や福栄・むつみからのアクセス向上も図れることを期待する。【阿武町】
中間ICに関する意見	山陰道の整備に併せてアクセス道を整備し、これらの開通を見据えて萩市都市計画マスタープランの改定や用途地域の変更により土地利用の規制を緩和し、中間IC付近やアクセス道沿線への企業進出促進を考えている。【萩市】

4. 対応方針（案）の検討

4. 対応方針（案）の検討

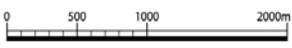
1) ルート帯（案）の概要



凡例	
■	主要渋滞箇所
⊗	防災対策必要箇所 (H27点検)
×	災害による通行規制発生箇所 (H17~H27)
×	秋篠生線の災害による通行規制発生箇所 (H27.4~H27.10)
▲	平面線形不良箇所 (R ≤ 150m)
★	死亡事故発生箇所 (H23~H26)
×	交通事故による通行止め発生箇所 (H18~H27)

凡例（コントロールポイント）	
■	集落・市街地
●	公共施設・病院
■	学校
●	主要観光施設
●	歴史的遺産
○	神社・仏閣・文化財
□	世界遺産
○	世界遺産緩衝地帯

※ルート帯（幅500m）に含まれるコントロールポイントは詳細ルートを検討時に配慮する。



【特徴】 ○北側の沿岸部については、新設による別線整備により、災害・事故等の現道課題を解消し、南側の市街地（世界遺産等）については、政策目標の達成等を考慮し、以下の案を検討する。

【案①】：市街地（世界遺産等）を回避し、最短ルートで結ぶ全線バイパス案



・対象区間を可能な限り最短ルートで結び、現道課題の解消を図り、通過交通等の速達性に最も優れる。

【案②】：沿岸部ショートバイパス+現道改良案



・現道改良により、現道課題の解消を図り、市街地からの利便性に優れる。
・市街地帯で道路幅員の拡幅等を行うため、支障家屋が多数発生。また世界遺産等への影響も大きい。

【案③】：市街地（世界遺産等）を回避し、中間ICを設置する全線バイパス案



・中間ICを設置することにより、観光拠点施設等や市街地へのアクセス性に優れる。
・基本的に別線整備で現道課題の解消を図り、通過交通の速達性にやや優れる。

※地域がアクセス道路を整備する場合

4. 対応方針（案）の検討

2) ルート帯（案）の比較・評価

○【案③：中間ICを設置する全線バイパス案】は、全ての政策目標の達成が見込めるほか、ルート帯を検討する際に配慮すべき点についても、【案③：中間ICを設置する全線バイパス案】が他案に比べ総合的に優れている。

○地域のニーズに対しては、アンケート調査において重視すべきとの回答が多かった「代替性の確保」「安全性・走行性の向上」「救急医療機関への速達性・確実性の確保」、また、ヒアリングにより把握した自治体が重要視する「代替性の確保」「産業の活性化」「観光振興の促進」のいずれの項目についても【案③：中間ICを設置する全線バイパス案】が他案に比べ優れている。

道路整備による効果・改善点

配慮すべき点

評価項目	番号	評価のポイント	【案①】バイパス案 (最短ルート 全線バイパス案)	【案②】現道改良案 (沿岸部ショートバイパス+現道改良案)	【案③】バイパス案 (中間ICを設置する全線バイパス案)
			延長 約10km サービス速度80km/h 【自動車専用道路】	延長 約11km サービス速度50km/h (ショートバイパス区間は80km/h) 【一般道路】	延長 約11km サービス速度80km/h 【自動車専用道路】
通行止め時に機能するネットワーク(代替性)の確保	①	災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること	○ 代替路が確保される	× 市街地部では新たな代替路が確保されない	○ 代替路が確保される
安全性・走行性の向上	②	線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること	○ バイパス整備により安全性が向上する	○ 国道191号の改良により安全性が向上する	○ バイパス整備により安全性が向上する
	③	通過交通と生活交通が分離できること	○ バイパスに通過交通等が転換し、生活交通と分離できる	× 通過交通と生活交通は混在する	○ バイパスに通過交通等が転換し、生活交通と分離できる
交通の円滑化	④	渋滞が緩和できること (観光シーズンの国道191号)	○ バイパスに交通が転換し渋滞が緩和	○ 拡幅により交通処理能力が向上し渋滞が緩和	○ バイパスに交通が転換し渋滞が緩和
	④	渋滞が緩和できること (通過交通の市街地の信号交差点の回避)	○ 連続する信号交差点を回避できる	× 連続する信号交差点を回避できない	○ 連続する信号交差点を回避できる
産業の活性化	⑤	農林水産物の集荷拠点や産業拠点から消費地までの時間短縮が図れること (萩以東～下関・九州方面の搬送時間)	○ 速達性に優れる (現況に比べ約10分短縮)	△ 速達性に劣る (現況に比べ約5分短縮)	○ 速達性に優れる (現況に比べ約10分短縮)
観光振興の促進	⑥	観光地へアクセスしやすいこと (主要観光地(萩一まーと))	△ アクセス性に劣る (最寄りIC(萩IC)から約9分)	△ アクセス性に劣る (最寄りIC(萩IC)から約9分)	○ アクセス性に優れる (最寄りIC(中間IC)から約4分)
救急医療機関への速達性、確実性の確保	⑦	救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること (大井地区から第2次救急医療機関までの信頼性・速達性)	△ 速達性は他案に劣る (現況に比べ約1分短縮)	△ 速達性が向上するが、市街地の代替性は確保されない。(現況に比べ約3分短縮)	○ 信頼性・速達性が向上 (現況に比べ約3分短縮)
環境等への影響	⑧	歴史的遺産群や景観への影響	○ 歴史的遺産群を回避するため影響はない	△ 歴史的遺産群付近を通過するため配慮が必要	○ 歴史的遺産群を回避するため影響はない
	⑨	自然環境への影響	△ 土地(地形)を新たに改変する範囲は大きいため配慮が必要	○ 土地(地形)を新たに改変する範囲は他案より小さい	△ 土地(地形)を新たに改変する範囲は大きいため配慮が必要
生活への影響	⑩	移転等が必要な家屋	○ 家屋への影響が小さい (約35軒)	△ 家屋への影響が大きい (約204軒)	○ 家屋への影響が小さい (約40軒)
	⑪	旧福栄村の集落や主要施設との連絡性	△ アクセス性に劣る (最寄りIC(大井IC)から約18分)	△ アクセス性に劣る (最寄りIC(萩IC)から約18分)	○ アクセス性に優れる (最寄りIC(中間IC)から約9分)
工事の影響	⑫	工事中の交通規制の影響	○ 交通規制は少ないため影響はほとんどない	× 現在の国道を改良するため交通規制が多く影響が大きい	○ 交通規制は少ないため影響はほとんどない
建設費	⑬	建設に要する費用	△ 橋梁及びトンネル延長が長く、建設コストは現道改良案より高い (約580～630億円)	○ 用地補償費が最も高いが橋梁及びトンネル延長が短く、建設コストは他案より安い (約300～350億円)	△ 橋梁及びトンネル延長が長く、中間ICを設置するため、建設コストは他案より高い (約610～660億円) ※中間IC設置費用約20～30億円含む)
維持管理費	⑭	維持管理に要する費用	△ 道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理コストは現道改良案より高い	○ 現在の道路を改良するため、維持管理コストは他案より安い	△ 道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理コストは現道改良案より高い

○：改善、△：一部改善 ×：課題が残存又は他案より劣る

※地域がアクセス道路を整備する場合

4. 対応方針（案）の検討

3) ルート帯（原案）



案③：中間ICを設置する全線バイパス案

※ルート帯(幅500m)に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。

【計画・ルートの考え方】
 国道191号の災害や事故、線形不良などの現道課題の解消及び世界遺産などの観光拠点施設等へのアクセスを考慮し、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

5. 自治体への意見照会結果

5. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会〔対応方針（案）に対する意見〕

山口県

意見

山陰道(大井～萩)における対応方針(原案)について同意します。

山陰道(大井～萩)は、荒天時の通行規制や事故、線形不良等、現道が抱える課題を解消するとともに、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興、県民の安心・安全の確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備が是非とも必要です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備や、山陰道整備後を見越した観光・産業振興の推進に取り組んでまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。



平 30 道路建設 第 220 号
平成 30 年(2018 年) 11 月 27 日

国土交通省

中国地方整備局長 水谷 誠 様

山口県知事 村岡 嗣政



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

平素から山口県の道路行政の推進につきまして、格別の御高配をいただき厚くお礼申し上げます。

平成 30 年 11 月 21 日付け国中整備計第 69 号で照会のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

記

山陰道(大井～萩)における対応方針(原案)について同意します。

山陰道(大井～萩)は、荒天時の通行規制や事故、線形不良等、現道が抱える課題を解消するとともに、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興、県民の安心・安全の確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備が是非とも必要です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備や、山陰道整備後を見越した観光・産業振興の推進に取り組んでまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。

6. 対応方針（案）のまとめ

6. 対応方針（案）のまとめ

1) 対応方針（案）

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

- ① 通行止め時に機能するネットワーク(代替性)の確保
- ② 安全性・走行性の向上
- ③ 交通の円滑化
- ④ 産業の活性化
- ⑤ 観光振興の促進
- ⑥ 救急医療機関への速達性、確実性の確保



- 評価対象区間の南部には、萩市街地や世界遺産などの観光地が立地しているが、渋滞や事故等において、移動における速達性、安全性が低く課題となっている。
- 北部沿岸部においては災害時や事故発生時の代替性の確保が課題となっている。
- 住民、事業所、道路利用者及び自治体などからは安全で災害時に強い道路が望まれている。

2. 対応方針（案）

ルート帯について、【案③:中間ICを設置する全線バイパス案】を対策方針(案)とする。

【理由】

- 【案③:中間ICを設置する全線バイパス案】は、【案①】【案②】に比べ全ての政策目標の達成が見込める。
- 意見聴取結果においては、「災害や事故等による通行止め発生時に代替路が確保されること」「線形不良箇所や幅員狭小箇所を回避し、安全に快適に走行できること」「救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」を重視する意見が多く挙げられており、【案③:中間ICを設置する全線バイパス案】は、地域のニーズにも応えられる。
- また、地域の将来ビジョンや地域連携の取り組みである、安心安全確保、観光振興、地域産業の活性化などについても支援できる。
- 【案③】は全ての政策目標の達成が見込め、災害等発生時の代替路の確保やアクセス性、速達性や信頼性・安全性の高い道路ネットワークを確保することができるなど、総合的に優れている。

3. その他

- ・具体の道路構造等の検討に際し、歴史的遺産群や景観への影響、自然環境への影響、家屋の移転、工事中の影響、事業費・維持管理費のコスト縮減等にも配慮する。
- ・また、バイパス整備後に現道に残存する課題について地元自治体と一体となって、交通状況の変化等を勘案しながら必要な対応に努める。

6. 対応方針（案）のまとめ

1) 対応方針（案）

4. ルート帯



凡例	
■	主要渋滞箇所
⊗	防災対策必要箇所(H27点検)
×	災害による通行規制発生箇所(H17~H27)
×	萩篠生線の災害による通行規制発生箇所(H27.4~H27.10)
▲	平面線形不良箇所(R≤150m)
★	死亡事故発生箇所(H23~H26)
×	交通事故による通行止め発生箇所(H18~H27)

凡例（コントロールポイント）	
■	集落・市街地
●	公共施設・病院
■	学校
●	主要観光施設
●	神社・仏閣・文化財
○	歴史的遺産
□	世界遺産
○	世界遺産緩衝地帯

※ルート帯(幅500m)に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。